

公表

保護者等からの児童発達支援事業所評価の集計結果

事業所名	児童発達支援・放課後等デイサービス りあん
------	-----------------------

公表日 R8年 2月 24日

利用児童数

3

回収数

3

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	3					
	2	3					
	3	2			1		
	4	3					
適切 な 支 援 の 提 供	5	3					
	6	3					
	7	3					
	8	3					
	9	3					
	10	2				1	
	11				3		
保 護 者 へ の 説 明 等	12	3					
	13	3					
	14			2	1		
	15	3					
	16	3					
	17	3					
	18			2	1		
	19	3					

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	3				
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	1		1	1	
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	3				
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	2			1	
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	3				
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	3				
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	3				
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	2		1		今の本人の問題であり、事務所に何かあるわけではないです。 安心して来所していただけるような環境づくりに努めていきます。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	2		1		今の本人の問題であり、事務所に何かあるわけではないです。 来所する楽しみを持ってよいサービスの提供に努めていきます。
	29	事業所の支援に満足していますか。	3				

公表

児童発達支援事業所における自己評価結果

事業所名		児童発達支援・放課後等デイサービス りあん		公表日		R8年 2月 24日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	9		・放デイと同じ部屋ですが、十分なスペースだと思います。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	9				
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	8	1	・トイレなどバリアフリー化ではないが、現状で問題ありません。 ・各個人が確認して行動できている。 ・文字だけでなく絵を使って情報を伝えている。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	9		・片付いた心地よい環境は、子どもたちにも影響が大きいと感じるので気をつけている。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	9		・個室は用意してあります。 ・複数の児童が必要となった時も他の部屋が利用できます。		
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	9		・朝礼時に昨日の様子を担当していた者が伝え、改善すべき点を話し合っている。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9				
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9		・毎日の朝礼で話し合っている。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	8	1			
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	9				
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	9		・フェイスブックにて公表している。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	9				
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	9		・児童発達支援管理責任者と担当職員で作成し後で他の職員の意見も聞いている。		
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	9				
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	9				
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	9				
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	9				
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	9				

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	9				
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	9			・朝礼で申し送り、確認を毎日行っている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	9			・勤務時間が異なる事や、欠勤者がいるため翌日の朝礼に行うようにしている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	9			・振り返りがしやすいように、気になったことは書き留めている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	9				
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	9				
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	8	1		・個別支援会議などに参加している。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	8	1		・支援内容の情報共有が不十分な時があるので、送迎時などに情報を共有していきたいです。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	9			・相談員さんと保護者様と共有している。 ・特に必要な場合は学校に連絡させていただいています。	
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組を行っているか。					
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。					
	30	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。					
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	9			・講習などに参加している。	
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	2	7		・地域の商店街や公園に出かけているが一緒に活動することはない。	・交流に向けて取り組んでいきたい。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	9			・お迎えの時に保護者様にお伝えしている。	
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4	5				
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	9				
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	9				

保護者への説明等	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	9				
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	9			・お迎えの時間にお聞きしているので、今のところ面談等は行っていない。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	2	7			・1度開催しただけなので交流する機会を設けたいと思っている。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	9				・月に1度はお手紙で確認を入れている。 ・保護者様より連絡があった時は対応している。
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	7	2			・予定表を月に1度必ず郵送している。 ・行事の写真などをお配りしている。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	9				
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	9				
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	1	8			
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	9				・月に1度、曜日や設定を変えて避難訓練を行っている。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	9				
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	9				
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	8	1			・入所時にアレルギーの事は保護者様よりお聞きして共有している。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	9				・気になる事はヒヤリハットを書き、共有されている。
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	9				・ハザードマップを施設の壁に貼っている。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	9				
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	9				・月に1回、職員会議で行っている。
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	9				・行なう場合は職員会議で話し合い、保護者様にお伝えしています。	

公表

児童発達支援事業所における自己評価総括表

○事業所名	自動発達支援・放課後等デイサービス りあん		
○保護者評価実施期間	2026年 1月 5日		2026年 2月 15日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	3	(回答者数) 3
○従業者評価実施期間	2026年 1月 5日		2026年 2月 15日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	9	(回答者数) 9
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 2月 16日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	保護者様に日常の状況をお伝えして、その都度話し合いをして対策や改善に取り組めるように努めています。	その日の様子を連絡ノートでお知らせしたり、送迎時に直接保護者様にお伝えてさせていただいて、情報の共有を心がけています。	保護者様とのコミュニケーションをとりやすい関係性を築いていけるように努めます。
2	児童や保護者様のご希望や課題をよく話し合い、相談員の計画、意見なども取り入れていながら個別支援計画を作成しています。	児童や保護者様のお話や意見を取り入れ、その都度計画の変更などを柔軟に対応できるように心がけています。	保護者様や相談員、保育園などの関わりのあるところとのコミュニケーションを深めていき、情報の共有をできるように努めます。
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域との交流の機会が少ないこと。	商店街への散歩やお買い物などは行っていますが、それ以上の交流の機会を作ることが難しいです。	地域の資料館の見学や、地元の産業に触れる機会を増やしていきたいです。
2	保護者様間の父母の会などといった交流の場を設けていない。	保護者様のご予定や日時の設定などの調整が困難で、ご希望に添えない可能性があること。	こまめに保護者様のお話や予定を聞きながら、調整していきたいです。
3			